
九州運輸局メールマガジン 平成28年4月7日 第329号

～運輸と観光で九州の元気を創ります～

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/>

九州運輸局メールマガジンをご愛読くださりありがとうございます。

九州運輸局メールマガジンは隔週の木曜日にお届けしています。

次回発行日は平成28年4月21日（木）です。

◆ 目次

1 現場レポート

- ・博多～釜山航路「ニューかめりあ」でテロ対策実施状況を点検～伊勢志摩サミット・関連閣僚会合を前に～
- ・貸切バス乗車の際はシートベルトの着用を！～博多港中央ふ頭で外国人向けリーフレットを配布～
- ・熊本県上天草市で「内航海運のグループ化説明会・意見交換会」を開催～海運業・船員の町の復活を目指して～

2 お知らせ

- ・春の全国交通安全運動を実施中です！
～正しいルールで交通安全 笑顔はマナーとやさしさから～
- ・「2016九州ボートショーin福岡」が開催されます～本格的マリン&アウトドアシーズン到来！～
- ・海の貴婦人「海王丸」に乗ろう！～海技教育財団が平成28年度の海洋教室や体験航海スケジュールを決定～
- ・帆船を見に行こう！～将来の船長さんをめざして～

3 九州運輸局ホームページアップ情報

- ・報道発表
- ・お知らせ
- ・更新情報

1 現場レポート

◆博多～釜山航路「ニューかめりあ」でテロ対策実施状況を点検
～伊勢志摩サミット・関連閣僚会合を前に～

5月の伊勢志摩サミット・関連閣僚会合を前に、国土交通省は交通運輸事業者に対して、テロ防止に向けた自主警備策の徹底を通知しているところであり、3月24日には九州運輸局と福岡海上保安部の合同で、博多港中央ふ頭に停泊中の博多～釜山航路のフェリー「ニューかめりあ」に立ち入り、船舶保安対策の実施状況を点検しました。

国際航海船舶及び国際港湾施設の保安の確保策については、平成13年9月11日に発生した米国同時多発テロ事件を契機に法律が公布され、同年7月からISPSコード（The International Ship and Port Facility Security Code）が発効し、国際航海に従事する全ての旅客船及び総トン数500トン以上の貨物船がその対象となっています。

本立ち入りでは、船舶への立ち入り者の身分確認、金属探知機による身体検査、操

縦室や高圧ポンプ室などの立入禁止区域の施錠・封印状況の確認、不審者及び不審物発見の際の通報依頼等の実施状況を点検した結果、本船では国際船舶保安証書の所持や、保安措置等にかかる自主的教育及び訓練の実施も適確に行われており、国際条約に基づく I S P S コードに適合していることを確認しました。

久保田・九州運輸局次長からの講評では「引き続き法令の定める事項を遵守し、間断のないテロ対策の取組に尽力願いたい。」と乗組員への今後の更なるテロ対策の徹底をお願いするとともに、取材に訪れていた報道機関を通じて「日本でもいつテロが起きてもおかしくない状況であり、官民挙げて対応をきっちりやっていきたい。いつ不審な人物が乗船してくるかわからない。乗船しないよう未然の措置は講じているが、それをかいくぐって乗船してくることがあるかもしれない。不審物や不審な人を見かけた時には、すぐに乗務員に通報して欲しい。各自の安全を図るためにも通報のご協力をお願いしたい。」とテレビ視聴者や新聞読者へも呼びかけました。

九州運輸局では、今後も関係機関や交通運輸事業者と連携し、テロ対策の徹底に万全を期していきます。

立ち入り点検の様子は次の URL からご覧ください。

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_329_1.pdf

(海上安全環境部)

◆貸切バス乗車の際はシートベルトの着用を！

～博多港中央ふ頭で外国人向けリーフレットを配布～

本年1月15日に長野県軽井沢町にて貸切バスが反対車線を越え道路下に転落、乗員・乗客15名が死亡し、乗客26名が重軽傷を負うという重大事故が発生したことは記憶に新しいところです。

被害が大きくなった要因の一つとして、乗客の多くがシートベルトを未着用であったことが指摘されています。シートベルトの着用は衝突時の被害を軽減したり、車外放出の危険性を低くする効果があり、道路交通法でも全ての座席においてシートベルトを着用させるよう運転者に義務付けられていることから、2月に国土交通省では警察庁とともに、貸切バス事業者に対しシートベルトの着用徹底を周知しています。

九州運輸局でも、春の全国交通安全運動の初日4月6日に博多港中央ふ頭にて、入港する外航クルーズ船「MARINER OF THE SEA」の外国人客を待ち受ける貸切バスの運転士を訪れ、「バス乗車の際はシートベルトを締めましょう」とのリーフレットを配布、シートベルト着用励行の呼びかけを行いました。

リーフレットは、日本語版と外国語版（英語、中国語、ハングル語の3カ国語で表記）の2種類があり、「シートベルトを着用しないと、高速道路で約9倍 一般道路を含めると約14倍 命の危険性が高まります！！」と注意喚起を促しており、訪れた20台の貸切バスの中には、既にバス協会を通じリーフレットを入手し車内に掲示しているものもありました。また、一部のバスでは自社作成DVD「ご乗車のお客様へ シートベルト着用をお願い」（日本語版）を車内で放映していました。

併せてバス運転士に対し、点呼の実施状況・健康状態・運行指示書の携行・乗客へのシートベルト着用の呼びかけのヒアリングも実施したところ、全車において問題ありませんでしたが、軽井沢スキーバス事故後の乗客のシートベルト着用状況について質問をすると、「日本人のお客さんは、ほぼ全員がシートベルトを着用してい

るが、外国人のお客さんはほとんどしていない。言葉も通じないので。」との回答が数多く返ってきました。今回のリーフレットが役立つことを切に願うところです。

九州運輸局では、今後も同様な取組を実施し、貸切バスでのシートベルト着用を励行し、輸送の安全確保に努めていきます。

配布したリーフレットと配布の様子は、次のURLからご覧ください。

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_329_6.pdf

(自動車技術安全部 保安・環境課)

◆熊本県上天草市で「内航海運のグループ化説明会・意見交換会」を開催
～海運業・船員の町の復活を目指して～

国土交通省では、近年、内航船舶の老朽化が急速に進んだことから代替建造を促進するため、平成18年3月に「内航船舶の代替建造推進アクションプラン」を策定し、同アクションプランを着実に実施するためのビジネスモデルとして、内航海運グループ化を促進しています。これは、業界の殆どが経営基盤の脆弱な中小零細企業で構成されていることから、この構造を改善するため、船舶管理会社を活用した緩やかなグループ化を行うことで安定した業界を創設しようとするものです。

熊本県天草地域は、元々海運業が盛んな土地柄で船主（内航船のオーナー）も船員も多く輩出していますが、その事業規模は、船を1隻しか保有していない、いわゆる一杯船主と言われる零細事業者が8割以上を占め、上述のとおり経営基盤の脆弱さが懸念されており、年々事業者が減少しています。

このような中、熊本運輸支局では、3月15日に上天草市松島町で「内航海運に係るグループ化の取組」の説明会及び意見交換会を開催しました。「内航海運のグループ化」とは、経営基盤の脆弱な船主がグループを作り効率的な人材育成やスケールのメリットを活かした管理コストの削減等を行おうというものです。

当日は、熊本県内から予定を上回る海運事業者40人の参加があり、説明会のテーマに関心を寄せる関係者で会場は満席になりました。

説明会は、まず、講師の九州運輸局海事振興部担当官が内航海運の現況、グループ化の取組、今後のグループ化の方向性など全国でうまくいっている事例や九州でのグループ化の状況などの説明を行いました。

続く意見交換会では、国土交通省海事局船員政策課担当官の参加もあり、活発な議論が交わされました。特に、次世代の船員をいかに確保して育てていくか等について、様々な意見が交わされ、天草地域海運業への先行き不安の状況を変えたいとする参加者の思いが強く感じられました。

今後も熊本運輸支局としては、当該地域の海運業が抱える不安が幾分かでも取り除けられ、海運業や船員の町として復活と成るように、出前講座や海事教室などを中心に支援をしていきたいと考えています。

内航海運のグループ化説明会・意見交換会の様子は、次のURLからどうぞ。

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_329_3.pdf

(熊本運輸支局)

2 お知らせ

◆春の全国交通安全運動を実施中です！

～正しいルールで交通安全 笑顔はマナーとやさしさから～

広く交通安全思想の普及・浸透を図り、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣付け、国民自身による道路交通環境の改善に向けた取組を推進することにより交通事故防止の徹底を図ることを目的とした「春の全国交通安全運動」を今年も実施しています。期間は4月6日（水）から4月15日（金）までの10日間で、特に4月10日（日）は「交通事故死ゼロを目指す日」として定めています。

九州運輸局では事業用自動車の安全運行の確保など全部で7項目の実施項目を定めており、関係機関・団体と緊密に連携しながら事業者への指導・啓発など交通事故防止に向けて取り組んでいきます。

「平成28年春の全国交通安全運動」のチラシはこちらからどうぞ。

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_329_4.pdf

（総務部 安全防災・危機管理調整官）

◆「2016九州ボートショーin福岡」が開催されます

～本格的マリン&アウトドアシーズン到来！～

今年で18回目を迎える九州最大のボートイベント「2016九州ボートショーin福岡」が、今年も福岡市西区小戸の福岡市ヨットハーバー特設会場で、4月23日（土）と24日（日）の2日間開催されます（両日とも午前10時～午後5時までです）。

ボートの操船体験コーナーやジュニアヨットミニコーナー「ディンギーヨット」セミナーなど、海遊び・海学び情報満載のイベントです。さらに、クイズラリー&空くじなしの大抽選会もあり、ご家族や、カップル、仲間同士でぜひ遊びにお越しください。詳しくは、九州ボートショーHPをご覧ください。

<http://www.marine-festa.com/>

☆九州運輸局は「2016九州ボートショーin福岡」を後援しています。

（海事振興部 船舶産業課）

◆海の貴婦人「海王丸」に乗ろう！

～海技教育財団が平成28年度の海洋教室や体験航海スケジュールを決定～

毎年練習帆船「海王丸」を利用して「海洋教室」や「体験航海」を実施している公益社団法人海技教育財団が、平成28年度の日程等を発表しました。

小学4年生以上を対象とした海洋教室では、船内見学・ロープの結び方・船内諸作業・操帆作業等を体験でき、九州では来年の平成29年2月5日（日）に大分県の別府港にて実施予定です。

- ・参加資格は、小学校4年生以上の健康な生徒さんで、保護者の同意が必要です。
- ・募集人員は50名、先着順で定員になり次第締め切りです。
- ・申込期間は平成28年10月1日～12月28日となっています。

また、国内8コースの国内体験航海や遠洋体験航海のコースもあります。

詳細なお問い合わせ、申込み等は、公益社団法人海技教育財団のホームページから

ご覧ください。

<http://www.macf.jp/kaiwomaru/embark.html>

(海事振興部)

◆帆船を見に行こう！

～将来の船長さんをめざして～

海技教育機構（旧：航海訓練所）の練習帆船、日本丸と海王丸が長崎港、門司港と下関港に寄港し、一般公開やセイルドリル（総帆展帆）が催されます。

この機会に、普段は見ることのできない帆船の内部や総ての帆が張られた美しい「海の貴婦人」たちを見に行きませんか？

きっとあなたも船長にあこがれるはずですよ♪

<長崎港>

☆日本丸が寄港

・一般公開：4月22日（金）

・セイルドリル：4月23日（土）

（事務局：長崎帆船まつり実行委員会事務局）

<門司港>

☆日本丸が寄港

・セイルドリル：5月21日（土）

・一般公開：5月22日（日）

（事務局：門司みなと祭協賛会事務局（北九州商工会議所門司サービスセンター））

<下関港>

☆海王丸が寄港

・セイルドリル、一般公開：8月5日（金）～9日（火）の間に開催（詳細未定）

（事務局：下関市港湾局振興課）

詳細については、各事務局のホームページ等でご確認ください。

(海事振興部)

3 九州運輸局ホームページアップ情報

--- 報道発表 ---

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/#HOUDOU>

--- お知らせ ---

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/#OSIRASE>

--- 更新情報 ---

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/#KOUSIN>

//////// 編集部より //

3月30日に全国の先頭を切って、福岡市の桜が満開と発表されました。福岡合同庁舎敷地内の片隅にも、一本の小さな桜の木が立っています。出会いと別れ、希望と不安が交差した桜の季節、さあスタートです。

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_329_5.pdf

平成28年度も「運輸と観光で九州の元気を創ります」をキャッチフレーズに、九州運輸局の活動や取組、様々な情報をタイムリーにお知らせしていきます。読者の皆様、ご愛読よろしくお願いいたします。

いつも九州運輸局メールマガジンをご覧いただき誠にありがとうございます。編集部では、運輸と観光に関する取組や話題、イベントの案内、地域の情報等、本メールマガジンへの掲載記事を広く募集しています。お気軽にご投稿ください。

////////////////////////////////////

■本メールマガジンのバックナンバー閲覧はこちらから

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/backnumber-top.htm

■本メールマガジンの配信中止やメールアドレスの変更などはこちらから

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/kouhou_mail.html

■九州運輸局メールマガジン編集部（九州運輸局総務部内）

mail: qst-mm-kyushu@ml.mlit.go.jp

Tel : 092-472-2312 Fax : 092-471-7192
